

## ◎ 7 月全校集会講話

今回（7月8日）の全校朝会では、中原中学校校歌の作詞者紹介と歌詞に込められた願いについて考えてみました。

校歌の作詞者は**宮崎安一**氏です。みやき町教育委員会社会教育課作成資料によると、宮崎氏は中原校区原古賀（小学校の前付近）の方で、九州三大歌人と称される**中島哀浪（なかじまあいろう）**氏の門下の歌人として活躍され、第二回哀浪賞やひのくに功労賞等を受賞されています。校長室には、宮崎氏直筆の校歌掛け軸が掲げてあります。

校歌の歌詞で、①若鷹（わかだか）、②ましみず（真清水）、③せふりやまなみ（脊振山脈）、④はぜもみじ（櫛紅葉）という言葉が出てきます。私自身は、それぞれの言葉から季節や情景を想像しました。それは、若鷹（春～初夏）＝成長期の皆さん、真清水（夏）＝透きとおった水＝清らかな心、櫛紅葉（秋）＝故郷中原の情景（勉学の秋、真理を究める道）などです。

皆さんは、この校歌からどんなことが思い浮かびますか？校歌を歌うとき、情景を連想しながら、また、歌詞の意味を考え、作詞者がこの校歌に込めた願いを考えながら歌うと、この校歌が素晴らしいものだと思えると思います。

※中島哀浪（1883-1966年）氏は佐賀市久保泉の出身で、北原白秋や若山牧水と並ぶ九州三大歌人と称され、歌誌『ひのくに』の刊行（昨年第1000号発行）に尽力されました。千代田中や東脊振中、鳥栖工業高校の校歌の作詞もされています。

# 宮崎 安一

みやざき やすいち

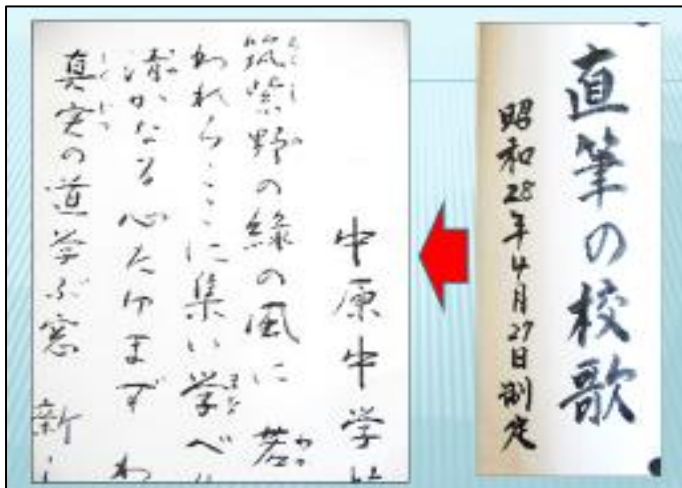


昭和48年4月2日付け  
佐賀新聞より引用

**1905年生～1981年**  
76歳ご逝去  
中原村原古賀 出身

歌誌『ひのくに』の歌人

- ・ 中島哀浪の門下で小哀浪といわれ、第二回哀浪賞「ひのくに」功労賞 受賞
- ・ 中原中学校校歌作詞



②ましみず  
= 真清水

③せふりやまなみ  
= 背振山脈  
**脊振**

④はぜもみじ  
= 櫛紅葉





和蠟生産